

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名

コード番号 4463 URL https://www.nicca.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)江守 康昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名)澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)

配当支払開始予定日 – 決算補足説明資料作成の有無:有 決算説明会開催の有無 :無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	i	営業利益経常利益		益	親会社株主に帰属する 四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	41, 217	4. 4	2, 901	15. 7	2, 759	△2.8	1, 613	△12.7
2024年12月期第3四半期	39, 476	5. 4	2, 508	88. 6	2, 839	56. 3	1, 848	81.6

(注)包括利益 2025年12月期第3四半期 766百万円 (△66.0%) 2024年12月期第3四半期 2,253百万円 (△17.3%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	101. 76	_
2024年12月期第3四半期	116. 89	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	66, 489	36, 411	50. 2	2, 098. 47
2024年12月期	62, 366	36, 553	54. 0	2, 125. 60

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 33,396百万円 2024年12月期 33,650百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2024年12月期	_	25. 00	_	27. 00	52. 00			
2025年12月期		30.00	_					
2025年12月期 (予想)				30.00	60.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業利益		経常和	経常利益		Eに帰属 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57, 000	5. 4	3, 600	2.3	3, 400	△14.5	2, 400	△12.9	151. 49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	17, 710, 000株	2024年12月期	17, 710, 000株
2025年12月期3Q	1, 795, 367株	2024年12月期	1, 879, 105株
2025年12月期3Q	15, 852, 078株	2024年12月期3Q	15, 813, 750株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当四半期の経営成績の概況	2
(2)当四半期の財政状態の概況	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)における世界経済は、ウクライナおよび中東情勢を巡る地政学的リスクが依然として高い水準にあり、原油価格や資源価格の変動などを通じて不安定な状況が続いております。また、米国トランプ政権による相互関税など保護主義的な政策の影響に加え、主要国における金融政策の動向や為替の変動なども重なり、世界景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。一方、わが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調を維持しておりますが、海外経済の減速懸念や米国の関税政策の影響など、先行きについては不確実性が残る状況となっております。

このような中、当社グループは企業パーパス「Activate Your Life」(ステークホルダーとともに、無限に広がる界面カガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献すること)に基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げております。当パーパス、ビジョンのもと3か年中期経営計画『INNOVATION25』(2023-2025)を策定し、現在、中期経営計画の5大戦略である「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでいるところであります。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

3か年中期経営計画『INNOVATION25』の最終年度となる当第3四半期連結累計期間の売上高は41,217百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益2,901百万円(前年同期比15.7%増)、経常利益2,759百万円(前年同期比2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,613百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(化学品事業)

売上高は29,475百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益は2,979百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

主力の繊維化学品において、トランプ関税の影響により顧客である海外繊維加工場の稼働が減速しましたが、中国拠点を中心に、フッ素フリー系撥水剤、工程合理化薬剤等の高付加価値EHD関連製品売上の伸長や、新規ビジネスの獲得により売上が伸長しました。また、電子材料関連工程薬剤においても、半導体市場の一部回復や新規ビジネスの獲得により売上が伸長しました。

これら売上の伸長により、販売管理費が増加したものの、化学品事業は増収増益となりました。

(化粧品事業)

売上高は11,344百万円(前年同期比11.7%増)、セグメント利益は1,430百万円(前年同期比24.0%増)となりました。

当社デミコスメティクスにおいては、物価上昇など国内経済が不透明な状況が続き、さらに酷暑による来店客数減などサロン環境が厳しい状況の中、主力へアケアや新商品の拡販により堅調に推移いたしました。連結子会社においては、DEMI KOREA CO.,LTD. における販売は市況悪化の影響を受け売上が減少したものの、山田製薬株式会社における受託事業は好調に推移いたしました。

これらの結果、化粧品事業は増収増益となりました。

(その他)

売上高は397百万円(前年同期比68.9%増)、セグメント利益は50百万円(前年同期は5百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、4,123百万円増加し66,489百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,216百万円減少した一方、現金及び預金が607百万円、有形固定資産のその他(純額)が4,791百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、4,265百万円増加し30,078百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が3,192百万円、長期借入金が724百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、142百万円減少し36,411百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が709百万円増加した一方、為替換算調整勘定が665百万円、退職給付に係る調整累計額が472百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(中匹・日次11)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10, 726	11, 334
受取手形、売掛金及び契約資産	11, 996	10, 780
商品及び製品	5, 314	5, 410
仕掛品	818	904
原材料及び貯蔵品	4, 372	4, 494
その他	1,005	1, 144
貸倒引当金		△13
流動資産合計	34, 221	34, 057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12, 401	11, 733
機械装置及び運搬具(純額)	2, 365	2,057
土地	7, 760	7, 768
その他(純額)	1, 475	6, 266
有形固定資産合計	24, 002	27, 826
無形固定資産		
その他	510	827
無形固定資産合計	510	827
投資その他の資産		
その他	3, 631	3, 778
投資その他の資産合計	3, 631	3, 778
固定資産合計	28, 144	32, 432
資産合計	62, 366	66, 489

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6, 181	6, 038
短期借入金	4, 300	7, 492
1年内返済予定の長期借入金	1, 368	1, 368
未払法人税等	534	366
賞与引当金	961	618
役員賞与引当金	15	14
その他	3, 783	4, 440
流動負債合計	17, 143	20, 339
固定負債		
長期借入金	4, 234	4, 958
退職給付に係る負債	3, 132	3, 263
株式報酬引当金	210	224
その他	1,091	1, 292
固定負債合計	8, 668	9, 738
負債合計	25, 812	30, 078
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 898	2, 898
資本剰余金	2, 960	2, 991
利益剰余金	24, 251	24, 961
自己株式	$\triangle 1,407$	△1, 342
株主資本合計	28, 703	29, 509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	719	798
為替換算調整勘定	4, 119	3, 453
退職給付に係る調整累計額	107	△365
その他の包括利益累計額合計	4, 946	3, 887
非支配株主持分	2, 903	3, 015
純資産合計	36, 553	36, 411
負債純資産合計	62, 366	66, 489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	<u> </u>	(単位:日刀円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	39, 476	41, 217
売上原価	25, 357	26, 347
売上総利益	14, 119	14, 870
販売費及び一般管理費	11, 610	11, 969
営業利益	2, 508	2,901
営業外収益		•
受取利息	55	80
受取配当金	24	30
持分法による投資利益	12	15
為替差益	51	_
その他	238	132
営業外収益合計	382	259
営業外費用		
支払利息	29	84
為替差損	_	137
支払手数料	_	141
その他	22	38
営業外費用合計	51	401
経常利益	2, 839	2, 759
特別利益		
固定資産売却益	2	135
特別利益合計	2	135
特別損失		
固定資産除却損	4	3
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	_
特別損失合計	4	3
税金等調整前四半期純利益	2, 837	2,890
法人税等	769	1,024
四半期純利益	2, 067	1,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	219	253
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,848	1,613

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	(十四・日2/17/
前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
2, 067	1,866
81	79
78	△707
26	$\triangle 471$
186	△1,100
2, 253	766
1, 982	553
270	213
	(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) 2,067 81 78 26 186 2,253

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セグメント		その他(注)	合計
	化学品	化粧品	計	その他(注)	
売上高					
外部顧客への売上高	29, 083	10, 157	39, 241	235	39, 476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	1	1	169	170
111 h	29, 083	10, 158	39, 242	405	39, 647
セグメント利益又は損失(△)	2, 813	1, 153	3, 967	△5	3, 961

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額	
報告セグメント計	3, 967	
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△5	
セグメント間取引消去	25	
全社費用 (注)	△1, 477	
四半期連結損益計算書の営業利益	2, 508	

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失) 該当事項はありません。
 - (のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。
 - (重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セグメント		フの加 (分)	∧ ⇒1	
	化学品	化粧品	計	その他(注)	合計	
売上高						
外部顧客への売上高	29, 475	11, 344	40, 819	397	41, 217	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	3	4	158	163	
## # # # # # # # # # # # # # # # # # #	29, 477	11, 347	40, 824	555	41, 380	
セグメント利益又は損失(△)	2, 979	1, 430	4, 409	50	4, 459	

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4, 409
「その他」の区分の利益又は損失(△)	50
セグメント間取引消去	19
全社費用 (注)	$\triangle 1,577$
四半期連結損益計算書の営業利益	2, 901

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失) 該当事項はありません。
 - (のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。 (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

減価償却費 1,652百万円 1,578百万円